



# 現場視察会を開催しました！ ～ 多賀城インフラ技術交流会 ～

東北技術事務所

■多賀城市内を拠点に社会基盤整備や公物管理を所掌する機関※と東北学院大学工学部の技術系職員等の技術力向上を目的に「多賀城インフラ技術交流会」を平成24年から開催しています。

■今年度は下記の事業箇所で開催され、東北学院大学からは、中沢副学長、李教授にご参加頂きました。

- 開催日／ 令和5年9月26日（火）
- 視察現場／ ▶ 町道女川出島線「出島架橋本体工事」  
▶ 石巻ケーソンヤード
- 参加者／ 13名

※ 多賀城市、東日本高速道路(株)東北支社 仙台東管理事務所、塩釜港湾・空港整備事務所、東北道路メンテナンスセンター、東北技術事務所

## 町道女川出島線「出島架橋本体工事」

女川町の離島・出島と本土を結ぶ出島架橋の本体工事を視察しました。（事業主体は女川町。宮城県が施工）現在、女川港石浜ヤードで、一括架設用の大ブロック（中央径間ブロック）を組み立てており、橋本体架設に向け、進捗を図っています。

当日は、東部土木事務所より工事概要、進捗状況等の説明後、地組作業（溶接・塗装）が行われている工事現場を視察しました。



▲ 工事概要の説明



▲ 工事現場の視察の様子



## 石巻ケーソンヤード

石巻港や仙台塩釜港の防波堤や岸壁等に必要となるケーソンを製作する石巻ケーソンヤードを視察しました。

当日は、塩釜港湾・空港整備事務所よりケーソンヤードの施設概要、ケーソンの製作・進水プロセス等の説明後、現場で整備された施設、製作中のケーソンなどを視察しました。



▲ 事業概要の説明



▲ 整備施設等視察の様子



多賀城インフラ技術交流会では、今後も各機関に関連する近隣の事業を中心に工事の進捗に合わせた現地視察を継続して参ります。